



オープニングイベントを視察する新宿区議会公明党

公明党が
実現!

本年2月24日、四谷保健センター内に女性の健康力のアップと各世代に応じた「元気づくり」の拠点として「女性の健康支援センター」がオープンしました。

皆さんは「性差医療」という言葉をご存知でしょうか?
男性と女性では言うまでもなく生理

ここでは何が
できるの?

相談できる!

<専門的な女性の健康相談>

産婦人科系の症状等について、女性の医師・助産師・保健師による個人相談が受けられます(予約制)。

<女性の健康相談>

保健師・栄養士・歯科衛生士が、こころやからだの悩みや日常生活で困っていることについて、アドバイスします(予約不要)。

学べる!

<女性の健康セミナー>

女性特有の病気や健康づくりに関する講座や、リラクゼーション・体操・料理などの体験型プログラムを開催します。

<女性の健康週間イベント>

3月1日～8日の女性の健康週間に合わせて、毎年3月に健康づくりに関するイベントを開催します。



体験できる!

<体験・測定・情報コーナー>

乳がん触診モデルを使った「しこり」の触知体験や、体組成計、血管年齢測定器などを利用した「からだ」のチェックができます。

また、健康に関する図書を備え、インターネットで情報収集もできます。

つながる!

<自主的な交流活動への支援>

同じ健康課題を抱える方々が集い、情報交換や仲間づくりの場を提供し、グループ活動を支援します。現在、乳がん体験者の会を開催しています。

的・生物学的な相違があるにも関わらず、これまでの医療は男性をモデルに展開されてきました。
しかし、女性は思春期、妊娠・出産期、更年期など、年代に応じてホルモンバランスが大きく変化するため、女性特有の健康課題を考慮しなければなりません。
このような「性差」による医療の必要性を踏まえ、公明党は女性が生涯を

通じて、健康で明るく充実した日々を過ごすために家庭、地域、職場、学校など様々な場で、女性のこころとからだの健康を支援する総合的な取り組みを行うよう貫いて主張してきました。
特に新宿区議会公明党としては、平成21年2月の第1回定例会での代表質問を皮切りに女性の健康支援策について提案。平成22年11月の第4回定例会では、中山区長より「建設予定の四谷

保健福祉施設内に女性の健康づくりを支援する『女性の健康支援センター』を準備する」との答弁を得ることが出来き、この度のオープンの運びとなりました。
新宿区議会公明党は、このセンターを中心に、区民の皆さんが女性の健康に関する知識と理解を深め、積極的に健康づくりに取り組めるよう支援してまいります。

「女性の健康支援センター」がオープン!



新宿区三栄町25番地(四谷保健センター内)

電話: 03-3351-5161 月～金=8:30～17:00(祝日・年末年始を除く)

子育て



<いよいよ4月1日から入所スタート>

私立認可保育所4所・子ども園1所(*図中の●印)で入所がスタート。また保育ルーム3所はすでに開設中。

<さらに重点地区を追加!>

昨年度申込み状況より多くなっている重点地区に2所の認可保育所の整備を推進。平成27年4月1日までは開設予定。

重点地区 落合第一特別出張所及び第二特別出張所管内、高田馬場三丁目地区

第1回定例会および 予算特別委員会から

暮らし

消費税8%の負担が大きい世帯に
給付金などの施策を実施

申請の手続きは6月中旬からお忘れなく!
(*詳しくは「広報しんじゅく」を)

給付金の対象となる方には、
6月中旬から「申請の案内」が郵送されます

4月に行われた消費税率8%への引き上げは、年金・医療介護子育てなどの社会保障の財源を安定的に確保するために必要なことですが、同時に庶民の暮らしを守る施策も欠かせません。

そこで公明党は、特に消費税UPの影響を受けやすい方々に対する配慮を貫いて推進してきました。

具体的には、低所得者や子育て世帯、住宅取得への給付金が支給されます。

更に、企業の賃上げや女性若者の雇用促進など、家計を急激に圧迫しないような配慮を促してまいります。

なお、給付金をもらうためには、申請の手続きが必要となりますので、詳しくは4月25日付の「広報しんじゅく」をご覧ください。

給付を装った詐欺には十分ご注意ください。
新宿区から区民の皆さんに直接、給付金などに関する電話や訪問をすることはありません。

住宅取得者

住宅ローン減税の拡充

所得税から最大
400万円控除

すまい給付金

最大で30万円を
現金給付



低所得者

住民税非課税世帯

1人当たり1万円の
一時金支給

基礎年金や
児童扶養手当の受給者

上記措置に
5000円上乘せ

子育て世帯

児童手当の給付世帯

*ただし所得制限があります
*また低所得者対策の受給者らは除きます

子ども1人当たり
1万円の一時金支給



家計を
応援!

公明党が
推進!

●ご不明な点は、新宿区臨時福祉給付金等専用コールセンター(0120-78-9292)まで、お問い合わせください。

文化

区民に
親しまれるような
「漱石山房」記念館に

文豪・夏目漱石は、新宿区で生まれ没したことをご存知でしょうか。特に晩年の9年間を過ごした早稲田南町にある「漱石山房」と呼ばれた館では、「三四郎」それから「こころ」「道草」などの名作が誕生し、芥川龍之介をはじめ、数多くの文士たちが訪れました。この「漱石山房」を夏目漱石生誕150周年の平成29年2月をめざして、記念館として復元する計画が区で進められています。



記念館内の「漱石山房」復元イメージ



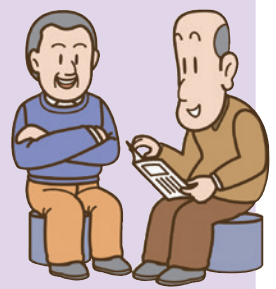
●漱石山房基金のご案内
詳しくは、文化観光課(03-5273-3807)にお問い合わせください。

「漱石山房」の復元は区民はもちろん、全国全世界の漱石愛好者が夢見てきたものであり、大変多くの期待が寄せられておりますが、一方で記念館をハコモノ化させないためには、多くの方々が何度も訪れたくなるような記念館となることが重要です。

そこで全国からの期待に応えながら、区民に親しまれるような記念館となるため、「漱石山房」記念館の整備を区民運動化すべきことを提案。

今後は出張所等に完成模型などを展示したり、様々な工夫を行っていくことが検討されることになりました。

高齢者



高齢者向けの情報を
一冊にまとめた冊子を作成します!

これまでも新宿区では、高齢者の方々に向けた様々な支援やサービスについて、個別にパンフレットや冊子を作成して、配布してきました。

しかし、種類が多く、内容も重複している部分があって、わかりにくいという声も聞いておりました。また、平成27年度には介護保険法の改正も予定されているため、わかりやすい情報提供が重要となってきます。

そこで、わかりやすく一冊に高齢者向けの情報をまとめることを提案。

平成26年度から、総合的な情報提供をするための冊子を作成し、制度改正に合わせて、平成27年度に配布することになりました。

この冊子には、支援やサービスの内容はもちろん、若い支度のための参考となる内容も盛り込む予定です。



いげた栄一



北島としあき



豊島あつし



野もとあきとし



中村しんいち



有馬としろう



赤羽つや子



鈴木ゆきえ



小松政子

新宿区議会公明党はこれからも皆様のご要望の実現に向け、真剣に取り組んでまいります。

新宿区議会公明党 Tel.03-5273-3552 メールアドレス s-koumei@shinjukukomei.com